

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	020104010	予算コード	01048200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	教育相談事業			正規職員数 1.05	国庫支出金 0	有効性	A	昨今は多種多様な教育問題への対応が求められており、引き続き相談体制の整備が必要である。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.03	市債 0	効率性	B		
	泉佐野市人権教育の基本方針			歳出(千円)	その他 0				
		人件費総額 8,663			一般財源 9,369	妥当性	A		
			減価償却費 0						
			事業費 706	受益者負担	該当なし				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円) 9,369	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円) 93			相談事業等を行う。		
対象				活動指標	H29実績	公的関与	A		
特定の市民		対象数	8012	就学支援委員会	2.0				
児童生徒・教職員				支援教育相談	9.0	実施主体・委託化	A		
事業の内容				理学療法医師診察	3.0				
①就学相談（障害などで配慮を要する児童・生徒の適正な就学の為に行う。） ②教育相談（保護者の教育への悩みや要望や具体的な相談活動を実施） ③理学療法・作業療法（リハビリテーションを通して、機能回復訓練を実施） ④通級指導教室 ⑤巡回相談（学校の教職員、保護者が障害や発達状況等、子どもの実態を的確に把握し、専門家による訪問を行う。） ⑥進路の相談等。				巡回相談	53.0	他の事務事業との関連	A		
				進路相談	250.0				
				成果指標	H29実績	透明性	A		
				就学支援相談件数	146.0				
				支援教育相談延人数	5.0	財政健全化計画	該当なし		
				理学療法医師診察延人数	14.0				
				巡回相談延人数	53.0	財政健全化の取組	該当なし		
				進路相談件数	55.0				
						改革改善プラン達成度	該当なし		
				コスト指標	H29実績				
				相談等1件当たりの経費(円)	34,318.7				